日本の少子社会の現状

2013年の合計特殊出生率1.43で17年ぶりの水準に回復

しかし

出生数は前年より7400人減の過去最少

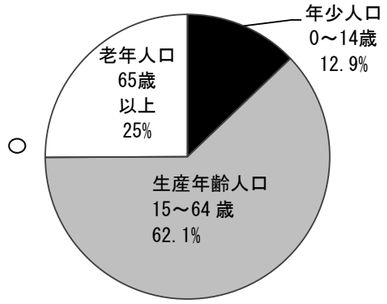
こんなに違う！
出生数

2013年
102万9800人

1949年　第1次ベビーブーム･･･**270万人**
1974年　第2次ベビーブーム･･･**209万人**

4人に1人が65歳以上人口

老年人口（65歳以上）の割合



参照：総務省統計局人口推計
2013年10月1日現在

― ひとりひとりが幸せな社会のために ―

社会保障の維持ができなくなる、労働人口が減少するなど、少子化が日本の国力の低下につながる社会問題とされ、さまざまな政策や制度の見直しなどが行われてきました。しかしその効果はなかなか目に見えるものにはなりません。まだまだ安心をして子どもを産み、育てられるとは言い難い社会環境であるということでしょうか？

ただ、子どもを産むか、産まないか、何人産むのか、いつ産むのか、不妊治療なども含め、それらはとてもプライベートなこと。政策や制度、**ジェンダー***などに左右されるものではありません。産む女性自身が決める、決めることのできる**“リプロダクティブ・ヘルツ・ライツ”** *による自己決定権、最も基本的な権利です。

＊ジェンダー
生物的な性別ではなく、男らしさ・女らしさなどの社会的・文化的につくられた性差、性別

＊リプロダクティブ・ヘルツ・ライツ
性と生殖に関する健康と権利
（人々が安全で満ち足りた性生活を営むことができ、子どもをもつかもたないか、いつもつか、何人もつかを決める自由）

今私にできること

今、私たちひとりひとりができること、それは互いの考え方や違いを認め合うこと。私が決めたことを認めてくれるあなた、あなたが決めたことを受け入れられる私、それらがつながり、拡がることで、誰にとっても自分が望む人生を安心して生きられる幸せな社会になるのではないでしょうか。

ちょっと聞かせて～

あなたはどう思う？

産まない　産めない　産む

- 社会的支援があり、経済的にも安心して産める環境･･･一人親でも、しんどくなく子育てできる環境が整えばなあ･･･
- 子ども一人じゃかわいそう～って言われるけど、親子楽しくやってま～す。
- これまで頑張って積んできたキャリアが止まってしまう！無くしてしまう！って思うと･･･産む決意･･･なかなかできないです。
- しんどそうな親をみていて･･･子どもは作らない！と決めました。
- 育児休暇を取って子育てするぞ！
- 結婚しないの？って言われるけど、放っといて！僕の人生は僕がきめます！
- 結婚しようと思わないです。仕事が楽しくて･･･
- 共働きでもいいよ、という人があれば、結婚したいなあ。